

# 伊賀・亀山・津・松阪・鳥羽

# 城郭めぐり

伊賀上野城

伊勢亀山城跡

津城跡

松坂城跡

鳥羽城跡

## 5つの城郭をめぐる スタンプラリー開催中!

名産の伊賀牛や松阪牛、伊勢海老や鮑など海の幸に銘菓や名物など  
5つの観光協会から特産品を抽選でプレゼント!

### 主な道路と路線図



#### 伊賀上野城

一般社団法人 伊賀上野観光協会  
〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内122-4 だんじり会館内  
TEL 0595-26-7788 FAX 0595-26-7799  
<http://www.igaueno.net/>

●所在地/伊賀市上野丸之内106

交通のご案内		車でお越しの場合	
大	阪神高速道路 西名自動車道 天理 名阪国道	約20分	約35分
大	名神高速道路 新名神高速道路 一般道	約1時間	約25分
全	名神高速道路 東名阪自動車道 名阪国道	約20分	約40分
全	名神高速道路 東名阪自動車道 名阪国道	約20分	約30分
■三重交通高速バスでお越しの場合			
大	北新高速 伊賀上野	約20分	約2時間
大	セノーバス 伊賀上野	約1時間	約30分
大	セノーバス 伊賀上野	約45分	約7時間

#### 伊勢亀山城跡

一般社団法人 亀山市観光協会  
〒519-1111 三重県亀山市関町新所664-2  
TEL 0595-97-8877 FAX 0595-96-0700  
<http://www.kameyama-kanko.com/>

●所在地/亀山市本丸町572番地

交通のご案内		車でお越しの場合	
大	西名阪自動車道・名阪国道 一般道	約2時間	約10分
大	名神 新名神 東名阪 自動車道 一般道	約20分	約40分
大	名神 新名神 東名阪 自動車道 一般道	約20分	約10分
大	名神 新名神 東名阪 自動車道 一般道	約20分	約10分
■航空機・列車でお越しの場合			
大	新幹線 JR関西 亀山	約1時間40分	約1時間10分
大	新幹線 JR東海 津	約45分	約20分
大	JR関西 津	約1時間	約18分
大	JR東海 津	約1時間	約6分
大	近鉄特急 大 津	約1時間	約18分
大	近鉄特急 大 津	約1時間	約18分

#### 津城跡

一般社団法人 津市観光協会  
〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 アスト津1F  
TEL 059-246-9020 FAX 059-221-0811  
<http://www.tsukanko.jp/>

●所在地/津市丸之内27

交通のご案内		車でお越しの場合	
大	西名阪自動車道・名阪国道 一般道	約2時間	約10分
大	名神 新名神 東名阪 自動車道 一般道	約20分	約10分
大	名神 新名神 東名阪 自動車道 一般道	約20分	約5分
大	名神 新名神 東名阪 自動車道 一般道	約20分	約5分
■航空機・列車でお越しの場合			
大	新幹線 JR東海/近鉄特急	約1時間40分	約50分
大	新幹線 JR東海/近鉄特急	約1時間40分	約50分
大	近鉄特急	約45分	約15分
大	近鉄特急	約45分	約15分
大	近鉄特急	約45分	約15分
大	近鉄特急	約45分	約15分

#### 松坂城跡

一般社団法人 松阪市観光協会  
〒515-0017 三重県松阪市京町507-2 松阪市観光情報センター内  
TEL 0598-23-7771 FAX 0598-26-4778  
<http://www.matsusaka-kanko.com/>

●所在地/松阪市殿町

交通のご案内		車でお越しの場合	
大	西名阪自動車道・名阪国道 一般道	約2時間	約10分
大	名神 新名神 東名阪 自動車道 一般道	約20分	約20分
大	名神 新名神 東名阪 自動車道 一般道	約20分	約20分
大	名神 新名神 東名阪 自動車道 一般道	約20分	約20分
■航空機・列車でお越しの場合			
大	新幹線 JR東海/近鉄特急	約1時間40分	約1時間10分
大	新幹線 JR東海/近鉄特急	約1時間40分	約1時間10分
大	近鉄特急	約45分	約25分
大	近鉄特急	約45分	約25分
大	近鉄特急	約45分	約25分
大	近鉄特急	約45分	約25分

#### 鳥羽城跡

一般社団法人 鳥羽市観光協会  
〒517-0022 三重県鳥羽市大明東町1-7  
TEL 0599-25-3019 <http://www.toba.gr.jp/>

●所在地/鳥羽市三丁目

交通のご案内		車でお越しの場合	
大	西名阪自動車道・名阪国道 一般道	約2時間30分	約40分
大	名神 新名神 東名阪 自動車道 一般道	約20分	約10分
大	名神 新名神 東名阪 自動車道 一般道	約20分	約10分
大	名神 新名神 東名阪 自動車道 一般道	約20分	約10分
■航空機・列車でお越しの場合			
大	新幹線 JR東海/近鉄特急	約1時間40分	約35分
大	新幹線 JR東海/近鉄特急	約1時間40分	約35分
大	近鉄特急	約45分	約40分
大	近鉄特急	約45分	約40分
大	近鉄特急	約45分	約40分
大	近鉄特急	約45分	約40分



# 伊勢亀山城跡



亀山公園池 (亀山城外堀)



旧館家住宅



加藤家長屋門及び土蔵



多門櫓



亀山市役所1階受付にスタンプを  
設置しています。



二之丸帯曲輪の土堀

**スタンプ  
設置場所**

**亀山市役所**

亀山市本丸町577番地  
TEL 0595-82-1111  
■受付時間 8:30~17:15  
■定休日 年末年始(12/29~1/3)

伊勢亀山城は、文永2年(1265)に関実忠が若山の地に築いたと伝えられます。中世の亀山に勢力を誇った関氏の居城で、現在の場所に16世紀中ごろまでには移っていたと考えられます。

天正18年(1590)、岡本宗憲によって天守を築造するなど修築を行い、本多俊次が寛永16年(1639)から30年を掛けて行った大改修によってほぼ現在の城地が確定しました。東海道の要衝ということもあって、城主はその多くが譜代大名で、延享元年(1744)に石川総慶が入城後は、明治まで石川家が城主を務めました。なお、丹波亀山城(京都府亀岡市)の天守を壊すよう幕府に命じられた出雲松江城主堀尾忠晴がまちがえて伊勢亀山城の天守を取り壊したと伝えられ、以後天守は再建されませんでした。

明治6年(1873)の廢城令により城内の建造物はその大部分が取り壊されましたが、現在は本丸東南隅の多門櫓(県有形文化財建造物)と石垣(県史跡)、外堀、二之丸から西出丸の北側の土居が良好な状態で残っています。また、発掘調査により発見された二之丸北埋門と帯曲輪が復原整備されています。



石川昌勝の甲冑  
(写真：亀山市  
歴史博物館提供)

目まぐるしく城主が入れ替わり江戸時代は東海道の要衝であった。多門櫓は県内に唯一現存する城郭建造物。



関宿鳥居



鈴鹿峠



**東海道の亀山宿、関宿に往時の面影が残る!**

亀山市には、東海道の四十六・四十七・四十八番目のあたる三つの宿場町「亀山宿」・「関宿」・「坂下宿」があり、江戸時代には、参勤交代や伊勢参りの旅人などで賑わいました。中でも、関宿は、現在でも古い町家200軒あまりが残っており、東海道で唯一、往時の町並みを色濃くとどめていることから、昭和五十九年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定。町に足を踏み入れると、まるでタイムトラベルで江戸時代に迷い込んだような気分を体験できます。

# 伊賀上野城



**スタンプ  
設置場所**

だんじり会館内「伊賀上野観光インフォメーションセンター」にスタンプを設置しています。

**だんじり会館内  
伊賀上野観光インフォメーションセンター**

伊賀市上野丸之内122-4  
TEL 0595-26-7788  
■開館時間 8:30~17:00  
■休館日 12月29日~1月1日



内堀石垣の高さは日本一級

戦国の世に築城の名手として知られる藤堂高虎公が本丸を拡張して普請。昭和に復興された天守閣が今も眩い。



藤堂高虎公

“忍者の里”と呼ばれる伊賀国は、山に囲まれた9里四方の小さな盆地、その中心は上野城下町です。町の北側の丘には白亜三層の伊賀上野城が、静かな雰囲気醸しながら端麗な姿を見せていて、白鳳城の雅名があります。

天正13年(1585)、伊賀の国を領した筒井定次が三層の天守を築き、北に表門を構えました。豊臣秀吉の没後、徳川家康が関ヶ原の戦いに勝ち、豊臣政権の継承者としての地位を確立するに及んで、慶長13年(1608)、定次を失政を理由に改易、藤堂高虎が伊賀・伊勢の城主として伊予今治城から移り、自ら縄張りを指図、本丸を30mの高石垣で囲み、筒井古城を大拡張しました。しかし竣工直前の五層大天守は、慶長17年(1612)9月2日の暴風雨で倒壊、そのうち大坂夏の陣で豊臣方が滅亡したので城普請は中止され、城代家老が執政することとなりました。

現在の天守は、昭和10年(1935)、地元の名士川崎克氏が私財を投じて純木造の復興天守を再建、伊賀文化産業城と称しました。城跡は昭和42年(1967)に国史跡に、天守は昭和60年(1985)に伊賀市の文化財に指定されています。

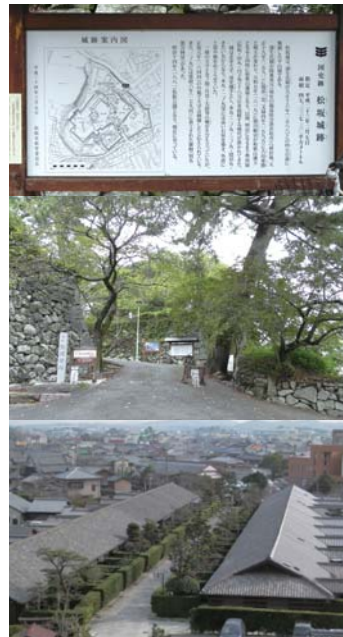


**伊賀上野は、伊賀流忍術の発祥地です!**

上野公園(伊賀上野城址公園)には、日本で唯一の忍術(忍術)をテーマにした登録博物館である「伊賀流忍術博物館」があります。この博物館には、忍者が住んでいた任掛けカラクリのある「忍者屋敷」や、忍者が使っていた道具や武器を展示している「忍術体験館」、また忍者の生活を紹介する「忍術伝承館」、そして、忍術が忍術を実演している「忍術ひろば」があり、手裏剣打ちの体験もできます。また、だんじり会館をはじめとした市内の「忍者変身処」で忍者衣装に変身してまちなか散策を楽しむこともできます。



# 松坂城跡



御城番屋敷を望む



## スタンプ 設置場所

歴史民俗資料館内にスタンプを設置しています。

開館時間  
9:00~16:30(4月~9月)  
9:00~16:00(10月~翌年3月)  
休館日  
月曜日、祝日の翌日、年末年始  
※展示替えて臨時休館あり

※休館日は松阪市観光情報センターにスタンプを設置しています。

織田家から豊臣家に仕えた  
戦国武将・蒲生氏郷公が築いた城。  
国史跡の城郭が往時を物語ります。

織田信長亡き後、羽柴(豊臣)秀吉に仕え天正12年(1584)南伊勢12万石の所領を与えられた蒲生氏郷は、四五百森に着目し新しい城造りに着手します。天正16年(1588)、城造りを始めてからわずか3年後、新しい城に本拠を移し、蒲生家に吉祥をもたらす「松」の字と秀吉の本拠地「大坂」の「坂」の字を併せ「松坂」と名づけました。

松坂城は、標高約38mの独立した丘陵(四五百森)に築かれた平山城で、北側を流れる阪内川を防御ラインとした要害の地に立地しています。丘陵を切通して南北に分断し、中核部である北丘、城の鎮守神を祀る南丘、両丘の周囲の三の丸で縄張りが構成されています。

北丘は、本丸を中心として東側に二の丸、南側に隠居丸、西側にきたい丸を配し、周囲には堅固な石垣を巡らせています。また、城の周囲には三の丸を取り巻く形で土居(土塁)、その外側に堀がありました。

築城当時の石垣は、自然石を利用した「野面積み」で、その石垣ひとつひとつを注意深く観察すると、古墳の石棺など他の石造物の部材も使用されていることがわかります。



蒲生氏郷公



## ちよっとひと休みして 「松阪牛」を堪能!

きめ細かい霜降り肉、箸で切れる柔らかな肉質はさすがに世界に誇るブランド「松阪牛」です。醤油と砂糖を使った味付けのすき焼きや、お肉本来の味を楽しめる網焼きなど、どれも自慢の肉質だから美味しさも絶品です。

また、味噌味などお店によってことなるタレで楽しめるホルモンもお値打ちで人気です。



# 津城跡



## スタンプ 設置場所

高山神社にスタンプを設置しています。

高山神社  
津市丸之内27-16  
TEL059-225-8558  
■受付時間 9:00~16:00  
■年中無休



織田信長の伊勢国侵攻に伴い地元の雄・長野氏に養子入りした弟・信包は、低湿地であった安濃川のデルタ地帯に新たに城を築きます。天正8年(1580)に完成したこの城が津城のルーツとなりました。ここは北を安濃川、南を岩田川に挟まれており、敵からの防御に優れた場所に城を築いたといえます。

文禄3年(1594)信包が秀吉に改易され、翌年新たに富田氏が津城主となります。知信・知高親子2代にわたる治世は約15年に及びます。

慶長13年(1608)徳川家康の命により、富田氏に替わり藤堂高虎が伊予国今治から伊勢・伊賀の城主として入府します。築城の名手・高虎は大坂包圍網づくりのため各地の天下普請に多忙を極めましたが、漸く慶長16年(1611)になり自領の津城と伊賀上野城の大修築にかかります。両城とも単なる城づくりではなく、来るべき泰平の世を見すえた新たな城下町の建設を構想したものでした。2017年に「続日本100名城」に選ばれた津城最大の特徴は、最大100mにも及ぶ幅の広い内堀と、本丸北側に代表される直線的な稜線を持った高石垣です。これは高虎の城づくりの特徴で、石垣の上に建つ白壁の櫓が堀の水面に映える姿はまさしく「水城」と言えます。

築城の名手、藤堂高虎公が改修した  
典型的な近世城郭様式。  
石垣の直線的な稜線が特徴です。



## 京都の津は、美人の湯や 森林セラピーなど魅力満点!

津市は、昔から湊町として栄え津藩主が浜遊びとして始めた盾干しや潮干狩りなどで有名な白砂青松の海が広がります。また、榊原温泉は、古来から伊勢神宮の湯治場で、美肌効果も高いことから「美人の湯」としても知られています。

そして、東海圏で初めて森林セラピー基地に認定された美杉町は、その昔伊勢の国司として大変栄えていました。「続日本100名城」に選ばれた「北畠氏館」をはじめ歴史的遺産が数多く残っています。



北畠氏館跡庭園



御殿場海岸潮干狩り



榊原温泉



# 5つの城郭をめぐるスタンプラリー開催!

下記の所定の位置にスタンプを押して、5つ揃えば抽選で5名様に名産の伊賀牛や松阪牛、伊勢海老や鮑あわびなど海の幸に銘菓や名物など特産品を1つプレゼント!

- 応募方法 / 所定の位置に5つの城郭スタンプを押してください。5つのスタンプが揃った場所で確認印をもらい、その場で応募用紙を提出すれば応募完了です。郵送でも応募いただけます。その際は必ず、確認印のある応募用紙を裏面のいずれかの観光協会へお送りください。下記の用紙は各観光協会のホームページからもプリントアウトできます。
- ※年2回、6月と12月に抽選を行います。
- ※1回の抽選においてお一人様1回のご応募に限らせていただきます。
- ※スタンプラリー抽選は予告なく終了する場合がございますのでご了承ください。



写真はイメージです。

◆抽選結果は各観光協会HPにて発表、当選者には直接賞品を発送いたします。

## 城郭めぐり完了の証

年 月 日



### ◆伊賀上野城

だんじり会館内「伊賀上野観光インフォメーションセンター」にスタンプを設置しています。



### ◆津城跡

高山神社にスタンプを設置しています。



### ◆伊勢亀山城跡

亀山市役所1階受付にスタンプを設置しています。



### ◆松坂城跡

歴史民俗資料館内にスタンプを設置しています。  
※休館日には、松阪市観光情報センターに設置。



### ◆鳥羽城跡

鳥羽市歴史文化ガイドセンター内にスタンプを設置しています。

# 鳥羽城跡



### スタンプ設置場所

鳥羽市歴史文化ガイドセンター内にスタンプを設置しています。  
開館時間 / 9:00~16:00  
休館日 / 火曜日

鳥羽城跡は、水軍の基地に適した、良港で知られる泊浦（鳥羽）の妙慶川河口部に位置し、標高40mの小山を中心に築かれた平山城で、南方山頂部に設けられた本丸を中心に、自然地形を利用して雑壇状に曲輪を配しています。

築城主は、織田信長や豊臣秀吉のもとで、水軍大将として活躍した九鬼嘉隆で文禄3年(1594)に竣工したとされています。

鳥羽城は、大手門は海に開いた水門で、内陸側には堀を巡らせ、四方を海に囲まれた「海城」でした。外曲輪を含めた総面積は32,280坪(約106,500㎡)で、内陸部からは藤口門、横町口門と相橋口門の3つの橋で連絡し、天守をはじめ、13の櫓が廃城時にはありました。城内は、絵図によれば、本丸の北西寄りに3層の天守があり、南側には本丸御殿がありました。

本丸跡の周囲には野面積みの石垣が残存し、当時の姿を留めています。その他にも鳥羽市民文化会館裏の家老屋敷跡周辺に石垣が残っています。堀は、大半が埋められて残っていませんが、妙慶川の相橋に堀の石垣が唯一残っています。石垣の石材は、カンラン岩と千枚岩を使用しており、これらの石材は、周辺の海岸部で採取されたものと考えられます。

九鬼嘉隆公



戦国時代に水軍大将として活躍した九鬼嘉隆公。

当時は四方を海に囲まれた「海城」。

## 城郭めぐりスタンプラリー応募用紙 ※スタンプの重複は無効です。

お名前		ふりがな		〒		住所	
性別	男性・女性	年齢	歳	連絡先電話番号	—	—	—

ご意見・ご感想があればお聞かせください。

最終確認印

年 月 日

※ご記入いただいた住所やお名前等の情報は、プレゼントの発送のみに使用いたします。他の目的での使用はいたしません。



**旅の疲れをいやす 絶景と海幸 鳥羽のお宿!**

風光明媚な鳥羽の各地区には個性あふれるお宿がたくさんあります。なかには、約60軒の温泉宿があり、旅の疲れをさっと癒してくれることでしょう。

また、伊勢志摩の海の幸は、古来より、朝廷に献上されておられ、鳥羽市も美味しい食材の産地として広く知られています。それぞれの季節を楽しめる新鮮な海幸をふんだんに盛り込んだ料理でもてなしいたします。旅のあとは、ゆったりと鳥羽のお宿でくつろぎ、九鬼嘉隆の愛した鳥羽の風景と海の幸を満喫してください。